

金沢の町をよくするしくみ



運動期間 令和4年10月1日(土) ~ 12月31日(土)

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まりました。

当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町をよくするしくみ」として取り組まれています。

寄せられた募金は、県内の社会福祉施設や社会福祉団体、市民活動団体へ配分され、施設の整備や様々な地域福祉事業、市民活動サービスの活動資金となって、金沢市民をはじめとする県民の皆さまに還元されます。



共募の歴史



募金はこちらから

今号の内容

- 赤い羽根共同募金運動開始のお知らせ …… 1,4ページ
- 金沢障害者就業・生活支援センターについて …… 2,3ページ

働きたい！を応援します



一人ひとりの思いを大切に、
お話を聞いています。
ご相談がありましたら
お気軽にご連絡ください。

私たちが金沢障害者就業・生活支援センターのスタッフです！

地域の関係機関と協力しながら障害のある方の就業及び就業生活を送る上での日常生活の相談支援を行っています。

障害のある方を雇用している、あるいは今後雇用を考えている企業の方からの相談もお受けしています。

※初めてご相談いただく場合はまずは電話でご連絡ください。

※当センターの利用は無料です。利用に伴う経費(交通費、昼食代など)、他機関での手続きにかかる費用は自己負担となります。

※プライバシーは守ります

○連絡先

社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会 金沢障害者就業・生活支援センター

〒920-0864 金沢市高岡町7-25 金沢市松ヶ枝福祉館2階

TEL 076-231-0800 FAX 076-231-0801

E-mail k-nakapotu@kana-syakyo.jp

○相談日・時間

月曜日から金曜日 9:00~17:30

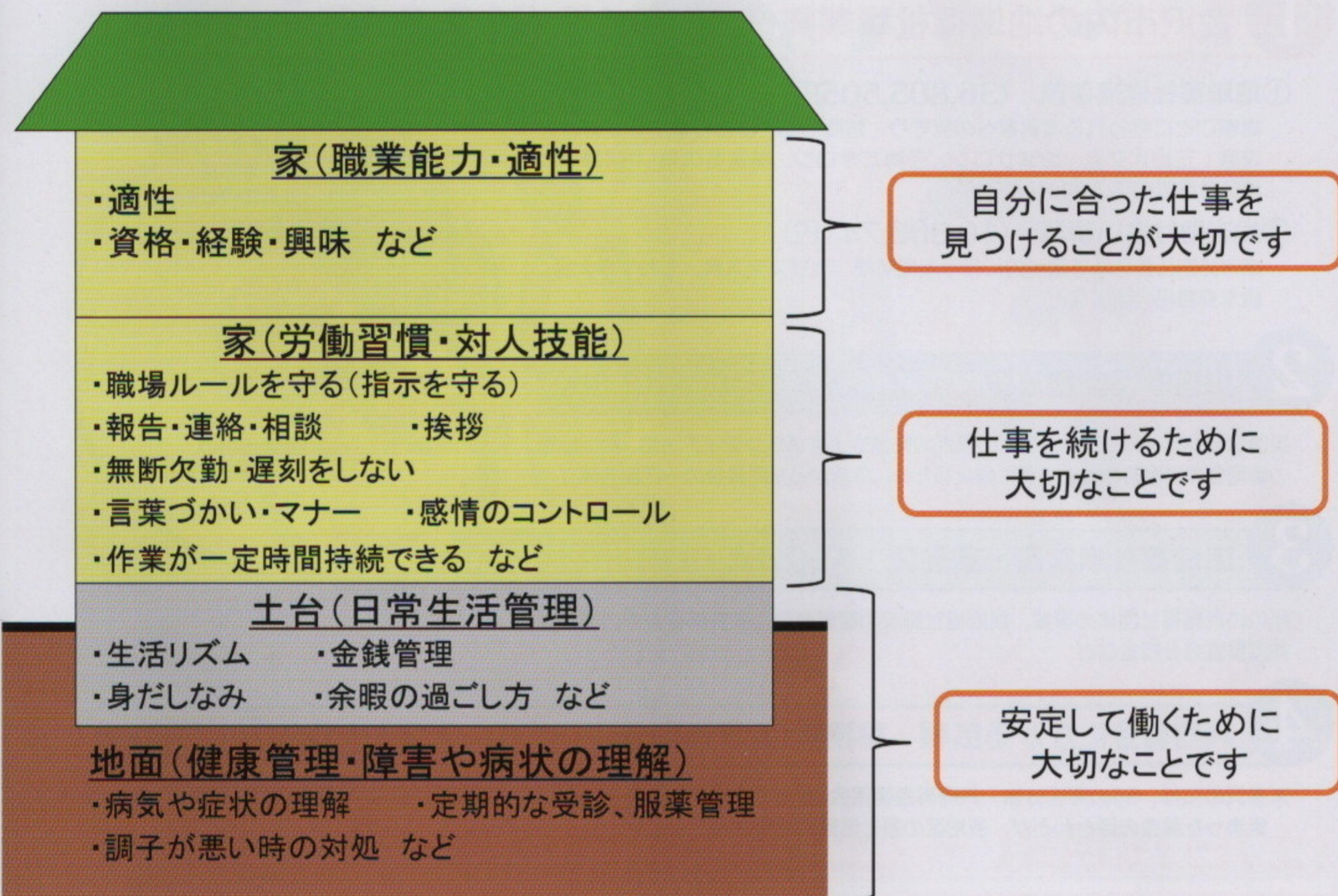
土日祝日および年末年始(12/28~1/3)はお休みです

下の図は「働くこと」を「家」に例えた図になります。

安定して仕事をするためには、健康管理や生活リズムなど(地面や土台の部分)がとても大切です。

私たちスタッフは、「長く、安定して仕事ができるように」サポートをしています。

働くために大切なこと



ジョブコーチ支援のご案内

障害のある方がスムーズに職場環境に入れるよう、また働き続けられるようにジョブコーチがご本人や企業の方と相談しながら支援を行います。

- 職場等でのご本人との面談
- 企業の方も交えて仕事の振り返り
- 作業の支援(習得確認、手順書作成補助) 等



対象は金沢市内在住の方、金沢市内の企業に勤務される方です。

令和3年度 赤い羽根共同募金

募金総額 61,402,246円

(金沢市共同募金委員会取り扱い)

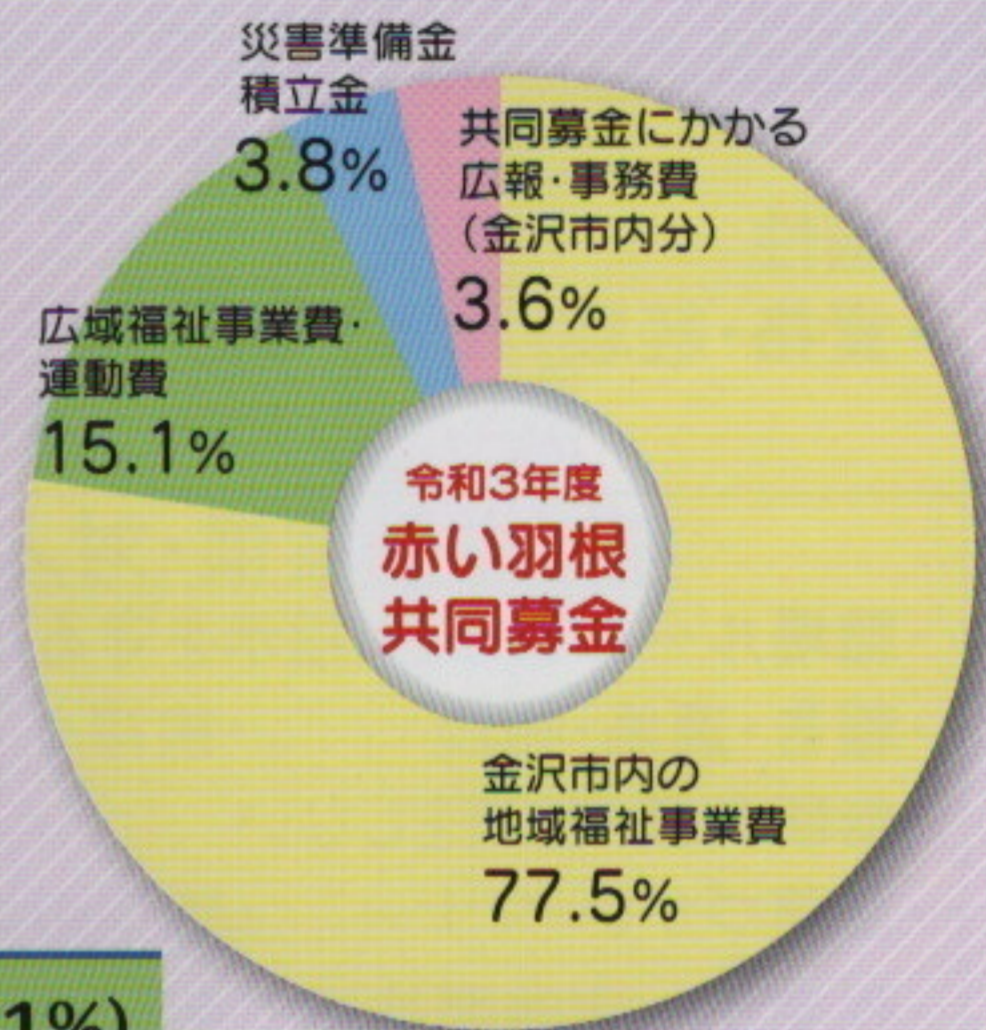
1 金沢市内の地域福祉事業費 47,612,246円 (77.5%)

①地域福祉推進事業 (36,805,505円)

地域ごとに行われる高齢者への見守り・訪問活動、ひとり暮らし高齢者交流会、三世代交流、地域サロン、子育てサロン、障害者の集い(研修会)、地区社協広報誌の発行など

②歳末助け合い事業 (10,806,741円)

歳末時期に各地域で重点的に行う友愛訪問、クリスマス会、もちつき大会、歳末見舞品の贈呈など



2 災害準備金積立金 2,331,000円 (3.8%)

災害ボランティアセンターなどの拠点の整備や災害ボランティア活動、被災施設の修理等の災害時の資金需要に備えるため、平時から共同募金の一定額を積立

3 広域福祉事業費・運動費 9,244,000円 (15.1%)

県内の民間福祉団体の事業、民間福祉施設の整備事業、県共募募金会の運動経費、中央共同募金会分担金など

4 共同募金にかかる広報・事務費(金沢市内分) 2,215,000円 (3.6%)

※金沢市には、54の地区分会・共同募金委員会(おおむね小学校区ごとに1地区)が組織され、共同募金運動を行っています。集まった募金のほとんどが、各地区の福祉活動に活用されています。

赤い羽根共同募金の詳細や使い道については「はねっと」(<https://www.akaihane.or.jp>)をご覧ください。



皆様から寄せられた募金が私たちのまちの福祉にどのように役立てられているかご覧いただけます。



高齢者サロン



生活にはりができ健康になりました

子ども食堂



ひとりで食べるご飯と違う味がする

災害ボランティア支援



ボランティアさんの一生懸命な姿に勇気と希望をもらいました



ホームページ



フェイスブック



LINE